

# 42 破天荒

平成三十年度版  
創刊  
第六号

## 夏休み終了！ しつかり充電できましたか？

一学期始業式も終わり、課題実力考査が行われましたが、皆さんにとって、皆んな夏休みでしたか。猛暑の中部地方で「力と技と心」を競い合った猛威など、数々の自然の脅威。およそ四十日程の間に、数多くの出来事があり、夏休みの締めくくりに、インドネシアの地で、アジア大会に参加、活躍して四十二回生もいきました。初めてこの夏、学業対外全国大会であった、七月進研模試の結果が返ってきました。具体的な数値により、四十二回生がこの先に目指す一つの指標を掲げることができました。今回は、その指し示した物事、学業の数値だけではない、個人の人間としての、他の人から得る、身に付けてもらうための考え、この相高三年、最初の生か活活、考えてみましょう。

### 今の自分を、第三者的に見て

- ・人のせい、何かのせいにするのが 増えてきていませんか？
- ・このぐらいでいいか、とか、少し飛ばしてもばれない 増えてきていませんか？
- ・だろ、など、自分に妥協が 減ってきていませんか？
- ・これができるようになりたい、できなくて悔しい、 減ってきていませんか？
- ・などと思う、自分の中の負い気が 減ってきていませんか？
- ・生活の中で、スマホ画面を見ている時間に比べて、 減ってきていませんか？
- ・本のページをめくる、字を読む、字を書く動作が 減ってきていませんか？
- ・保護者の方、お子様の、互いの目が合う回数 が 減ってきていませんか？

よく言えば、大人扱いはされることが増えていますが、自分の行動の責任を、自分で取ることができ、大人に近づいていますか？  
主義・主張だけが先行し始めると、特に、若い高校生くらいでは、自分の可能性を広げる努力、つまり、より高みを目指すための努力をすることを避け、より早く、安易に手に入る道を進もうと、巧みに理由付けをして、自分の目指す進路を捻じ曲げることに、傾向して多く見られます。でも、その一年が、人生の中で、大きな影響を与えたかは、先の人生の中で感じるものだと思います。大人扱いしてよい（成長を感じる）部分、干渉が必要な（自分に妥協している）部分、後押しをしてやってく頂きたいと思えます。将来、悔いのないように。

### 二学期に向けて 学年の先生方より

副主任 垣見信三

二学期に向けて

- |     |              |     |                  |     |             |
|-----|--------------|-----|------------------|-----|-------------|
| 第一条 | まず慣れる。       | 第二条 | もっと慣れる。          | 第三条 | 更に慣れる。      |
| 第四条 | 改めて慣れる。      | 第五条 | 慣れ続ける。           | 第六条 | 再び繰り返して慣れる。 |
| 第七条 | またもや慣れ直す。    | 第八条 | 飽かず慣れ続ける。        |     |             |
| 第九条 | 尚も屈せず慣れに慣れる。 | 第十条 | かくして遂に徹底的に慣れ尽くす。 |     |             |

これは、「語学上達十箇条」らしいのですが、英語だけではなく数学、理科など学習全般に当てはまる「上達」の極意ではないでしょうか。勉強のやり方も気になります、大切なのは毎日勉強することです。まず、学習を習慣化し、そのやり方を三か月ほど続けた後、改めて自分に合った勉強法を工夫していけばよいのです。継続して下さい。

さて、毎年、「今夏の暑さ」を耳にしますが、今年の夏の暑さは尋常ではなかったように思います。そんな中、机に向かい、着実に計画をこなした人は立派です。七月の進研模試の成績に一喜一憂することなく、夏を制した自信で九月、十月と勉強を続けていって下さい。逆に、暑さに負けてしまった人は、フンドシを締め直して、とにかく机に向かい教科書を開くようにして下さい。一日も早く学習の習慣を身につけて下さい。学習は持続なり。学びは慣れから。

### 本気か！？

3組担任 前田嘉暢

夏休みはたくさん勉強したか？たくさん遊んだか？たくさん汗かいたか？私は夏休み中、前述した3項目すべてを実行しました。皆さんに勉強しろと言ったからには、自分もやらなければいけないと思、昨年の大学入試の問題をたくさん解きました。皆さんに遊べと言ったからには、自分も夏らしい遊びをしました。皆さんに汗をかけとは言っていないけど、汗をかくとサッパリするので、たくさん汗をかくことをしました。何事でも、「本気」になれる人が強いと思う。勉強、遊び、何事にも全力でやるから面白い。しかし、人は弱い生き物で、追い込まれないと本気にならない人が多い。皆さんが追い込まれるという状況は、先生に怒られることかな？当然、違いますよね。本気でやっていたら、神様はきっと皆さんに力を授けてくれるはず。追い込まれる受け身の生活ではなく、自分を限界まで追いやる積極的な二学期にして下さい。

### 真の高校生になろう！

5組担任 山本一芳

高校入学から、はや五カ月が過ぎました。高校生活の約六分の一が終えたこととなります。高校生としての意識や言動が身に付いたでしょうか。中学生を脱したばかりと感じているかもしれませんが、一年生二学期には、高校卒業後のステップ（大学生・社会人）を見据えた決断をしなければなりません。将来の進路に大きく影響する文理・科目選択があるからです。自らの将来像を見つけ出し、それに向け邁進する「真の高校生」へと進化することを期待しています。さて、文理・科目選択における私からのアドバイスは、苦手な科目から逃げる「消極的な選択」ではなく、将来の進路を見据えた「積極的な選択」を心掛けることです。積極的な選択をしても苦手な科目から逃げることはできませんが、積極的な選択をした人は、ポジティブに物事を捉え、苦手な科目でさえ前向きに取り組むはず。この心掛けを忘れず、努力し続ければ、きっと未来は拓かれます。

### 坂本佳耶

夏休みが終わり、二学期が始まりました。みなさんはどんな夏休みを過ごしましたか？私は観光で東京大学に行ってきました。東京大学も夏休み期間だったので、大学生よりも観光客や、見学に来た高校生たちを多く見かけました。みなさんの中にも、気になった学校のオープンキャンパスに行った人がいるのではないのでしょうか？今年の夏休みは忙しくて行く暇がなかったなあという人も、是非また行ってみてください。学内を歩いてみたり、学食でご飯を食べてみたりすると、学校の雰囲気がかかると楽しいですよ。ちなみに、東京大学の食堂には『ボムの樹』というオムライス屋さんがあったり、『タニタ食堂』とコラボした定食があったりして、とても楽しかったです。さて、二学期には体育大会などの楽しい行事もありますが、文理選択など将来のことを考えることもたくさん出てきます。目標を持って、今できることをしっかりと進めていきましょう。

### 2組担任 平地悦子

長い夏休みも一瞬で終わりました。一学期は中学校とは違う高校の学校生活（小テスト・課題等）に慣れるのに必死な者も多かったと思います。ただし、もう二学期に突入します。入学して約半年たち、学校生活に慣れていないという言い訳はできません。一学期の自分を振り返り、反省すべき点を考え分析し、二学期につなげて下さい。未だに、強制されない勉強できない者もいます。こつこつ毎日努力することはとってもしんどい。それは皆同じです。ただ、先を見て行動できるか、踏ん張れるかです。そのことに早く気づき、早く改善してください。二学期も学校行事はたくさんあります。学力以外のことが求められる世代だということは四月からいろいろな場面で耳にしていると思います。クラスの者と協力し、主体的に動き、目一杯楽しんでください。オンとオフの切り替えをしっかりと有意義な毎日にししょう。

今号は、生徒への励まし、7月進研模試に関することに限定しています。夏休みの生徒の活躍は、改めて日をおいて、発行させていただきます。

## 声援を感じてね！！



### 4 組担任 長生 達也

一学期そして夏休みが終わり、皆さんは高校生活に対して何を感じているでしょうか。例えば、勉強や部活動、ボランティアなどに取り組むと大なり小なりミスをして、ときには後悔することもあるかと思いますが、過ぎてしまったことを変えることはできませんが、次に同じようなミスをしないように対策を練ることで成功へ近づくことは可能です。そうなれば今までの失敗を塗り替えることができます。物事の取り組み方、改善方法が中学校のまま、あるいは良くない方向に向かっている人も多いはず。高校と中学校とは違い、大きなギャップがあるため、中学校までのやり方、考え方を変えていかなければなりません。自分自身を変えることは難しいですが、次に進むためには必要なステップです。もしどうにも上手くいかないなど何かあればいつでも相談して下さい。しかし、一学期を乗り越えられたみなさんであれば変えられるはず。二学期からは良い悪いに関わらず、一学期の経験を活かしてより良い高校生活を送っていきましょう。

### 1 組担任 村住 敏宏

怒濤の一学期も終わり、長〜い夏休みを終えて、皆さんはしっかり充実した生活が送れましたか？「授業の展開が速い」「課題が多すぎる」「先生の教え方が悪い」「部活動がやりたくても出来ない」「自分の時間がほしい」…など。そんな不満を言うだけで問題の本質から逃げているだけではないでしょうか？問題の先送りばかりでは、何の解決にもなりません。どれだけ本気で問題を解決しようと取り組みましたか？もう一年の半分が過ぎようとしています。高校生活にたくさんの時間があるわけではありません。皆さんはこれからいろいろな選択をして、道を切り開き進んで行かなければなりません。愚痴を言ったり、後悔している暇など無いことを理解して下さい。一つ言えることは、最後までやり切ることの出来る自分自身をつくることだと思います。何事にも諦めずやり切ることで課題が見つかり、反省したり、または自信が付いていくと思います。「自分は最後まで諦めずに頑張れた」と言えるようになることが、これからの相高生につながると思います。二学期が始まりますが、学校行事、普段の授業、定期考査、または部活動にやり切ることで、良いスタートが出来るように頑張らしましょう。

### 7月進研模試について

先述したように、夏休み中に、初めての全国模試の結果が返ってきました。これにより、3年後の42回生の目標を掲げることができます。もちろん、経験値に基づいたものになりますが、掲げた目標を上回っていきけるように、日々の研鑽を大切に、まずは、しっかりと基礎の確立を行っていきたいと思います。目標を意識するには、一学期とは違った学習の取り組みが必要になります。「受け身」から「主体」へ、「未知の世界」を知りたいと考える生徒を増やしていきたいと思ひます。いよいよ始まりです。自分を乗り越えていく毎日しましょう。この後、教科毎に、本校生の現況を分析したものを記載します。各々が、自分の能力を高めるために、素直な気持ちで読み取ってほしいと思ひます。

### 3年後の進路目標

- ・旧7帝大挑戦を1〜3人目標。ただし、現状では、大阪・名古屋辺りを目指すには、絶対量をこなしている様子はない。まずは、基礎知識の習得を徹底し、北海道・九州辺りの問題に触れ、目標にしていくようなイメージからスタートし、上位層をリードしていきたい。
  - ・A1〜A3, B1ランクまでの、約35〜80までの人数(生徒ではない)が、国立大学進学に絡む可能性があると考えられる。B2・B3上位層をどう鍛えていくが課題となる。
  - ・目標 国立合格60 推薦合格10〜15 後期出願50 後期受験80%
- 国立がすべてではありませんが、やはり、少数精鋭で育ててもらえる有効性を考えると、一番目標設定にできるものなので、掲げたいと思ひます。

### 国語分析

- 一 評論
 

問題文は、字数は多くなく比較的読みやすい内容と言える。記述問題(問二)は、解答の根拠が必ず問題文にあるので、傍線部の前後をしっかりと読み、根拠となる要素を整理してから書くようにしよう。選択問題(問三、四、六)は、論旨を踏まえて正答に至るのが望ましいが、消去法で吟味していけば、間違いも少ないと思う。

★ 漢字は意味も覚え、大意把握・大意要約を心がけよう。
- 二 小説
 

長文だが中学三年生を主人公とした小説で、人間関係や心情・行動が共感できたのではないかな。案外難しいと思われる語句の意味(問一)、表現の説明(問五)は、比較的よくできていた。六十字という記述問題(問三)では、やや字数不足の解答もあった。「二十字で一要素」を目安に、要素をまとめて書くようにすれば、さらに得点できる解答になると思う。

★ 登場人物の心情、行動、人間関係、情景・状況を簡潔にまとめることを心がけよう。
- 三 古文
 

問題文はやや長文で、丁寧に読むことが前提となる。動詞(問二)は、二問とも正解して欲しかった。選択肢(問六)、記述問題(問四、五)とも、傍線部の前後をしっかりと踏まえて解答しよう。

★ 用言の復習、助動詞の暗記、全文通読による大意の把握、現代語訳を心がけよう。
- 四 漢文
 

読み(問一のb)は難しかった。返り点(問二)はよくできていた。書き下し文(問四)も、案じた以上によくできていた。記述問題(問三)は、傍線部の直前をまず正確に現代語訳しよう。

★ 全文通読による大意、『漢文学習必携』の句形文の暗記を心がけよう。

### 数学分析

答案については、高校数学らしい解答が書けるようになってきている。この調子で、言葉を適切に用いて、自分の考えを採点者に伝えることができるようになる。また、解答欄の使い方も良くなっている。起点となる式があり、最後には答えがあるといった、とても見やすく、流れが見える解答が増えている。解答が見やすくなれば、検算等が効果的に行えるようになるので、点数アップにつながる。そうすれば、見直しをする意味が、個々の中で大きくなっていく。この姿勢を、これからも続けていこう。今後、日本語や表から数式を導けるかが肝心になってくる。それは、一次不等式の得点率が極端な低さから見て取れる。

大問1【小問集合】

(1)の符号や、(5)の絶対値を含む方程式は、よく解けていた。また、模試の直前の授業で扱った解の公式もよく覚えられていた。大問1の得点率からも、小問集合はきちんと解けている人が多いことが分かる。一方、2問以上間違えている生徒の得点は、軒並み、全国平均点を下回っている。教科書の例題レベルの問題を中心に、集中して授業に取り組んでほしい。

ミスが目立った内容は、分母の有理化やルートを含んだ展開公式や、連立不等式等で、移項中に、符号が逆転した場合などであった。

大問2【数と式】

分母の有理化について、分母が2項のものではできているが、(1)の前半しか手をつけていないのは、逆数の概念がないだけのことなので、個々の計算能力からするともったいない。また、(1)だけを解いて残りには手を付けていない生徒が多い。(2)などは、 $A^2 - B^2$ の計算パターンなので、見だ目の式の姿に騙されている。(3)では(1)で求めた値を二乗するだけで3点もらえるように、与えられた式からの途中式など、何かしらは書いた後を残すようにはすべきだ。

大問3【一次不等式】

問題文が長くなると、立式ができている。CDを、自分の好きなものの買い物の話に置き換えればできるのに、と、強く感じた。「〇〇以下」という問題文なのに、不等式でなく等式で立式している生徒が6〜7割ほどいた。さらに、等式で値を求めた後に、不等式に直している(問題文が〇〇以下だから求めた値も〇〇以下にしている)が、不等号の向きだけを最後に合わせればよいという問題ではない。一方の値が減少すれば、つねに他方の値も減少すること(売上枚数が減れば入場者数も減ること)を確認しているだろうか。

問題の答えは、立式に対する計算に基づいて、それを解いた結果が解を満たす権利を持つわけです。

大問4【2次関数】

$x^2$ の係数が1以外の数である二次関数や、文字を含んだ二次関数の平方完成ができていない。計算ドリルが必要な状況である。

大問5【場合の数】

むやみに公式を利用しているため間違えている。(同じ色が隣り合うという条件があるため「5カ所に3色を塗るから ${}_5P_3$ 」とするのは×。)実際に色を塗るとして一方所ずつ何通りの色が入るか考えた方が立式しやすい。

今後の方策

演習中や解説後の様子を見ていると、何とか食らいついてこようとしているのは、よく伝わってくる。それはとても良いとは思いますが、質問内容の多くは、計算を手伝ってもらった内容である。計算力のアップと、問題文の内容を、数式で表現する練習をすること。具体的には、まず大問1の小問集合を満点を目指す。そして、苦手単元であっても、(1)は完答する。今回の模試に関して言えば、大問3の平均点を大切にすること。文章・表を不等式で表現できるようになること。(2)まで解けている生徒に関しては、(3)に手を少しでもかけられるように、教科書の応用例題レベルを最低4回(授業中の解説、演習、復習、テスト前)は解いておくこと。

今、皆さんが学習しているのは「数学」であり、「算数」ではない。つまり、計算に大幅な時間をかけるのではなく、初めて学習するものに対してはまず理解することに努めるべき。そのために板書をきれいに写すことに熱中するのではなく、話を聞きながら心の中で会話をしながら授業を受けてほしい。

### 英語分析

切実に感じることは、語彙力の低さです。英語は単語の意味がわかれば、文法がわからなくても文のだいたいの意味は読み取ることができます。英語力向上のカギは「語彙力」にあります。いきなり背伸びをしなくて良いので、1日10個ずつくらいからで構わないので、今から取り組んでいきましょう。

答案用紙に目を通すと、全体的に記述問題を嫌う傾向にあることがわかります。「記述問題は難しい」という先入観をもってしまい、直前にある語句をそのまま抜き出せばよい簡単な問題にも手を付けられない生徒が多いです。記述問題を避ければ、模試は当然のこと、入試でも得点化を図ることは不可能です。逆に、今回の模試で高偏差差が出ている生徒は記述問題にも積極的に回答しています。2学期以降は、記述力(日本語、英語共に)を高めることを主眼に置き、授業を進めていきます。

また、リスニングが全体的に得点率が低いのが気になります。学校でリスニングを実施する時間が十分に持たない分、リスニング問題を含む週末課題を与えています。しっかりとCDを聞いて問題を解いていますか？耳は英語を聞かないと、どんどん衰えていきます。また、解答した後にリスニングのスク립ト(内容・セリフ)を確認し、もう1度聞き直していますか？リスニングが苦手な者・得点をのばしたい者は、スク립トを見て、意味を確認した上でCDと共に音読することを強くお勧めします。CDの発音を徹底的に真似するのが、人間は自分が発音できない英語を聞き取ることができません。また、ディクテーション(聞こえた英語を書き取る)をするのも効果的です。リスニング強化のために上記のことを実践してみてください。学校でもリスニングの機会を増やそうと考えています。